
べる魂 銀さんと男鹿と愉快な最強たち

零桜音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

べる魂 銀さんと男鹿と愉快な最強たち

【Nコード】

N1707W

【作者名】

澪桜音

【あらすじ】

ベル坊の親探しをする男鹿は、万事屋銀ちゃんを訪ねた。

そこで銀さんたちは最強な人を探してマンガの国境を飛び交う！！！！

果たしてどんな結果が待っているのか！！？

バブー訓 人に頼むときは正しい態度で 魔王の親募集中です（前書き）

私の好きなマンガとキャラを詰め込んだ作品です。

駄作すぎて、自己満足で終わると思いますが、しばしお付き合いくださいm（――）m

バブー訓

人に頼むときは正しい態度で 魔王の親募集中です

ピンポーン

銀：おい新八、久しぶりの客だ。早く出る。

新：もう、自分で出て下さいよ。一応、万事屋のオーナーなんですよ？

銀：新八のくせに細けーな。給料カットな。

新：なんで！！！！？つか給料もまともに貰ってないんですけど！！！！

ピンポーンピンポーン

新：あつ、すみません、今行き――

ドシャーン

ガラガラ

パリン

男：あつ……ほら早く出て来ねーからドアが壊れちまったじゃねーか。

新：いや、今のは君が壊したよね！！？どーすんのコレ！！？

銀：新八、お前お客様になんて態度をとってるんだ。あー、すみませんねー、こいつ、ダメガネなもんで。

男：あー、いーんすよ。メガネにはロクなヤツいねーし。で、万事屋銀ちゃんって、ここであってますー？

銀：ん？もしかして君、べるぜバブの男鹿辰巳くん？

男：あ？ああ、まあ。

銀：じゃあ、その背中に背負ってるのはカイゼル・デ・エンペラーナ・ベルゼバブ4世ことベル坊くん！！？

男：そーだけど……。俺達のこと知ってんなら話は早え。こいつの親になつてくれ。

新：何言つてんの君！！！育児放棄イイ！！？そんなことできるわけないでしょ！！！！！！

銀：落ち着け新八。知らねーの？べるぜバブ。今すっごい人気なんだよ？

新：知るわけないでしょ！！最近、マンガもアニメも見えないんですから！！

銀：男鹿くんの背中にしがみついているベル坊くんは魔王の息子でね、人間を滅ぼしに来たんだよ。

新：なんですか、その設定。人気もなにも、天人と変わりないじゃないですか。

ベ：だ、ばぶだあぶば！！

新：うわあつ、怒った！！

男：俺は天人なんかじゃねえ。かんしゃく起こせるんだぞ。って言うてやがる。

銀：そうそう、怒らせたりすると電撃喰らっちゃまうから、気をつけたほうがいいよ。

ベ：だあばぶだばあぶ！！

男：そうだそうだ、ダメガネのくせに生意気だ、だと。

新：こんな赤ちゃんがそんなこと言うわけないだろオオ！！？銀さん、この子の親になるって……、どうするんですか！！？

神：騒がしいアルな。何事アルか。ん？うきやーっ！！そいつの背中にいる生物何アルか！！？

銀：おお、神楽、起きたのか。こいつはな、魔王の息子のベル坊くんだ。

神：よーしよし、いー子だな、ウリボー。決めたアル、私、こいつ飼うネ！！

新：何言ってるの、神楽ちゃん！！？魔王の息子だよ！！？人間滅ぼしに来たんだよ！！？しかもウリボーじゃなくてベル坊だし。

神：私、人間じゃないから大丈夫ネ。聞こえてたけど、かんしゃく起こせるアルよね。だったら、私と定春とウリボーと銀ちゃんであつ

さ強い万事屋の誕生ネ！！

新：ぼ、僕は入れてくれないの…？

神：ダメガネアイドルオタクは黙ってるヨロシ。

新：さつきからみんなしてダメガネダメガネって！！！！いい加減にしろよ！！！！！！

ベ：だあぶばぶだあ！！

男：どうしたベル坊？この姉ちゃんが気になるのか？

ベ：だぶばあぶだぶ！！

神：可愛いアルな、ウリボー。銀ちゃん、飼っちゃダメアルか？

銀：ダメに決まってるんだろ、そんな危ねーもん。お前が大丈夫でもこっちがもたねえよ。ってことで、悪いけど帰ってもらえる？ウチじゃムリだわ。

男：やっぱダメかー。じゃあ、強いヤツ探すってことはできるか？

銀：それならいいが、依頼料高いぞ。

男：じゃ、それはこの壊れたドアを直すってことで。

新：だからそれは男鹿くんが壊したんだよね！！？結果的に自分で壊したドアを自分で直すだけだからね！！？

男：ああ、大丈夫だ。直すのは俺じゃなくて、古市だから。

新：何、人にやらせようとしてんだよ！！アンタめちゃくちゃだなあ！！

銀：ま、男鹿くんは傍若無人で人を人とも思わない人だからねー。

新：いや、それならもっと納得できないんですけど…。

男：ま、ということなんで、よろしく頼むわ。

銀：しゃーねーな。ほら、行くぞ、新八、神楽。

神：えー、私がウリボー飼うアル！！

銀：酢昆布1ダース買ってやるから我慢しろ。

神：じゃあ、2ダースがいいアル。

銀：わーったわーった。

神：んまい棒3ダースもな。

銀：わーったわーった。ってことで、探してくるから、男鹿くんはこのドア直しといてね。

男：ああ。

こうして万事屋の最強探しの旅が始まった。

バブ一訓 人に頼むときは正しい態度で 魔王の親募集中です（後書き）

べるぜバブは、男鹿に一目惚れしてハマりました。

でも古市も結構好きです（声優も豪華ですよ 小西克幸さんと水島大宙さんなんて…吐血する…）

銀魂は小学生の頃から好きです。そしてやっぱり声優が豪華

ってことで、よろしくお願いします（人、）

バブ二訓

人の話は最後まで真剣に聞きましょう

凶暴な女はいりませんか

銀魂最強と言えばこの方

最強というより最凶でしょうか…

キャラ崩壊しかけなので注意です・てかしてますo

バブ二訓

人の話は最後まで真剣に聞きましょう 凶暴な女はいりませんか

新：それにしても、最強な人を探すって、どこを探せばいいんですか？

銀：いるじゃねーか、銀魂内にも。

神：お登勢さんアルか？

銀：あんなババアじゃねーよ。いるだろ、もっと危ねーヤツが。

新：わかりました！！高杉さん！！

銀：ブッブー、新八が言ったから残念ー。

新：なんですか、そんなに僕に恨みでもあるんですか！！？

神：黙れ、ダメガネ。地味でツツコミしか取り柄がねーくせに。

新：神楽ちゃんの言葉が一番傷ついたよ…。

銀：神楽、そんなダメガネにかまってないで早く高杉んところに行くぞ。

神：そうアルな。

新：やっぱり高杉さんじゃないですか！！！！残念とか言っときながら………って無視しないで……！！

【鬼兵隊隠れ家】

銀：ごめんくださいーい、高杉さん。

新：今更なんですけど、どうして鬼兵隊の隠れ家の場所知ってるんですか？

神：そんなこと気にしてたら世の中上手くやっていけないネ。だからいつまでたっても新八のままアル。新一になれないネ。

新：関係ないし、新一にならなくていいし！！！！

銀：あれ、出てこねーな。ここじゃねーのかな？高杉さん家の晋助くん、この頃少し変よ、どうしたのかな？

ガラッ

ま：うるさいッス。晋助様に何か用ッスか？

神：あ、シミ付きパンツのまた子アル。またパンツ見せに来たアルか？

ま：シミなんかついてないッス！！そんなこと言っなら晋助様には会わせないッスよ！！

男：それは困るな。ベル坊の親候補らしいのに。

新：あれ、男鹿くん！！？ドアの修理は！！？

男：ああ、古市に頼もうとしたら、ちょうど目の前を姫川の野郎が

通ったから、アイツに頼んだ。

銀：ま、直してくれるならいいや。で、シミ付き…じゃなくて、イカした美人のお姉ちゃん、高杉くんところに連れてってくれないかな？

ま：シミ付きパンツって言おうとしたな！！！！？ふん、絶対通さないッス。

男：早く通せよ。

バキ…

ま：か、壁が…。し、仕方ないッス…、今回だけッスよ！！

銀：や、やるね、男鹿くん…、じゃなくて男鹿さん…。

男：あ？別にいいってことよ。

べ：ばあーぶー！！！！

【高杉の部屋】

高：よオ、銀時。お前から直々に俺ンとこに来るなんて珍しいじゃねえか。

銀：今日はお前に頼み事がある。

高：この俺にか？ククッ、まさか江戸の街をぶっ壊せてんじゃあるめえよなア。

男：すげー、強そうなヤツだ。高杉さん、だっけ？早速だが、コイツの親になってくれない？

高：なんだ、この男は？

銀：べるぜバブの主人公の男鹿辰巳だ。このベル坊つてのは魔王の息子で、最強の人間にしか懐かねーらしい。

高：それでこの俺に押し付けようってか。悪いが、俺に子育ては似合わねえ。その頼みは飲み込めねえな。

男：そこをなんとか頼む！！！！

ベ：だあばぶだばあだ！！

銀・男：ベル坊！！？

高：おいつ、は、離れろつ。

男：あらら、すっかり高杉さんに懐いちゃったみてーだな。これはもう、親になるしかないみたいだよー？

銀：うわー、男鹿くんの顔すっごいムカつくーっ！！でもこれは仕方ないねー。どーすんの、高杉くん？

高：本当ならぶっ殺してるところだが、生憎、赤ん坊に手を出すつもりはねえ。仕方ねえから、コイツが飽きるまで付き合ってやるよ。

男：おーっ！！やっぱいい男だ！！高杉さん！！コイツの扱い方は

難しいが、高杉さんならできる！！

高：扱い方だア？

男：ああ、まず、コイツ気に喰わねえとすぐかんしゃくを起こす。それと、15m以上離れてもかんしゃくを起こす。あとは、コイツの世話係の変な女がつく。

ヒ：変な女とは私のことか？

男：げっ、お前、なんでここにいんだよ！！？

ヒ：坊ちやまの行くところには私もついていく。当たり前のことだ。

銀：すっげー、金髪巨乳美人だ。しかもゴスロリ…。

高：誰だこの女。勝手に他人の部屋に入りやがって。靴脱げ。

ヒ：申し遅れたが、私は坊ちやまの侍女悪魔のヒルデガルダだ。ヒルダでいい。包帯の貴様が新しい坊ちやまの親か？

高：別に親になったわけじゃあるめえよ。

ヒ：ここが新しい坊ちやまの住まいか。案内しろ。それと名前を。

高：あ？…高杉晋助だ。つか、何勝手に話進めてんだよ。

ヒ：高杉か。ま、男鹿よりはまともそうだな。

男：どーゆー意味だよ！！

【なんやかんやで結局案内することになった高杉】

ヒ：そうか、貴様は鬼兵隊の頭なのか。

高：悪いか。

ヒ：いや最高の条件だ。

高：ここが厠でここが風呂場だ。で、ここが――

万：おお、晋助。なんだその赤ん坊と女は。まさか晋助……

高：何想像してやがんだ。ただ銀時の知り合いから預かってるだけだ。

万：そうでござったか。それは構わんが……いや、なんでもない。……
……どうして睨むでござるか……！

高：……で、この突き当たりが台所だ。

ヒ：うむ、だいたい把握した。それにしてもこの屋敷は広いな。

武：あ、高杉さん。その女性と赤ん坊はどうされたんです？

高：銀時の知り合いから預かった。

武：そうですか。でも、また子さんには見つからないほうがいいですよ。

高…どうしてだ？

武…きつと取り返しのつかないことになりますから…。

ヒ…また子とやらはどういうヤツなのだ？

高……変なヤツだ。

ま…あつ、晋助様ーっ！……！

高…あ、あんなヤツだ。

ま…あれ、あいつらは…って……晋助様、その女は……。

高…さっきの男鹿って男の知り合いらし――

ま…ギャー！ツ……！！……そんなはずないツス……晋助様がこんな
ゴスロリの変な金髪なんかと……

高…だから、人の話を聞け。お前はへそ出しの変な金髪だ。

ま…ありえないツス……！！……！！……！！……！！……うわー！あ……！！……！

高…お前のうるささがありえねえ。

ま…うわーっ、死ねえええ……！！……！！……！！……！！……

パンパンパンパンパンパンツ

高…来島、何してやがんだ……！！……！！……！！……！！……

ヒ：うるさい女だな。失せろ、下衆が。

スラッ…

高：ヒルダもやめろ！！

パパパパパッ

カキンシャキン

パンパンパンパン

【その夜、万事屋にて】

銀：あ、高杉。そんなに寝れてどうした？糖分足りねーんじゃない？

高：ちげーよ。この赤ん坊返しに来た。

銀：もう嫌われたのか？

高：いや、女同士の戦いが…。あんなに凶暴な女は2人もいらねえ…。

銀：あの姉ちゃん凶暴なの？大変だったねー。

高：他人事だな。俺はやっぱ無理だから他を当たってくれ。

パタン…

銀：って言われてもよ……。

べ・あぎゃ……いぎゅ……

バリツ、バリバリツ

銀：ややや、ヤバいよこれっ。どのくらいヤバいかっていうとマヂヤバいっ……つてこれハム子の彼氏の太助えええっ！！！！男鹿くん、太助じゃなくて助けてえええ！！！！

ぐ・おぢやー！！！！！！！！！！

バリバリバリッ

【翌日】

男：あら、次は最強で女関係も大丈夫な人探さねーといけねーみてーだな。

銀：男鹿くん……、まだ探すのお……？……

バブ二訓

人の話は最後まで真剣に聞きましょう 凶暴な女はいりませんか

高杉カッコよすぎます!!!!!!

あんままた子好きじゃないので、敵役になってしまいました；

やっぱり高杉のカッコよさはハンパないです!!!!!!

バブ三訓

11人でババ抜きしたらひとり当たりの手持ち少なくなね!?

大

べる魂×イナズマイレブンです。

異色ですね；

バブ三訓

11人でババ抜きしたらひとり当たりの手持ち少なくてね！？

大

銀：女関係が大丈夫な最強って言ってもな…。

新：小学生とか中学生とかなら大丈夫じゃないですか？

神：そんなガキに最強なんていないアル。

新：ガキとか言ってるけど、神楽ちゃんと同世代ってことだからね。

男：いや、いるかもしれないねえ。

銀：ホントか！？

男：イナズマイレブンなら最強の中学生がゴロゴロと。

銀：だが、要はベル坊が懐かなきゃなんねーんだろ？中学生に傍若無人で人を人とも思わないヤツなんかいるのかよ。

男：ま、とりあえず行ってみるしかねーよ。

【イナズマイレブン】

銀：確かこの辺にイナズマジパンの拠点があるはずなんだが…。

神：ちゃんと調べて来いよ。

新：あ、あの人に聞いてみましょうよ。すみませーん。

基：何か用ですか？

新：イナズマジャパンの拠点ってどこか知ってますか？

基：俺たちのチームですか？

新：あ、君、チームメイトだったんだ。ちょうどよかった。

基：はい、イナズマジャパンのフォワードの基山ヒロトです。

銀：じゃ、そこに最強のヤツいるか？

基：うーん…、俺はかつてエイリア学園では最強って言われてたけど…。今は、豪炎寺くんとかかな…。

男：エイリア学園って何だ？

基：宇宙一だった学校です。今はもうないですけど。

銀：じゃあ、お前宇宙一だったのか？

基：そーゆーわけじゃ……。

男：とりあえず、サッカーやってみろよ。最強らしいところを見れば、ベル坊も気に入るかもしれない。それにしてもお前、なんか古市と声似てるな…。

【サッカーグラウンド】

新：じゃあ始めてください！！

基：はい。…流星ブレード！！！！

バシユッ

銀：うわっ、お前ホントに人間か！！？ゴールネットが破れたぞ！！！！

新：しかもこのジャンプ力と柔軟性、そして威力！！銀さん、まさにこの人最強ですよ！！！！

基：そんな、俺より強い人なんてチームにはいっぱいいますよ。

ベ：ばふだあば！！！！

男：ベル坊も気に入ったみてーだ。よし、お前、コイツの親になれ。

基：親！！！？何言ってるんですか、俺、中学生ですよ！！？

男：大丈夫だ、俺も高校生だから。

ベ：だばぶばあぶ！！！！

基：しかもなんで裸なんですか…？

ヒ：それは坊ちゃまが魔王の息子だからだ。

男：ヒルダ、また来たのか！！

ヒ：新しい坊ちゃまの親はこの男か、貴様、名前は？

基：基山ヒロトです。あの…、あなたは？

ヒ：侍女悪魔のヒルデガルダだ。貴様、あまり強そうには見えんが、どこが最強なのだ？

男：コイツ、サッカーがすげーんだ。ほら見るよ、あの穴の開いたゴールネットを。

ヒ：ほう、ボールひと蹴りでああしたというのか。なかなかだな。坊ちやまも懷いておられるし、男鹿よりも爽やかだ。ただ、古市と声が似ているのが気になるな。

神：そーゆー大人の事情が絡んでくことは口に出さないもんアルよ。

基：なんか、君の声も聞き覚えあるよ…。虎丸くんっぽいような…。

男：だったら銀さん、アンタの声は神崎だろ。似てるところじゃねえよ。

銀：あ？うつせーなー。

基：その声、俺も聞き覚えあります。確かナイツオブクイーンのエドガー…。

新：もうその話題は止めましょう！！！！！！

全：その声は聞き覚えない！！！！！！！！！！

新：だからいいって！！！！しかも阪口さんに失礼でしょ！！！！
 って言うっちゃったよ！！！！！！！！！！！！！！！！！！

【その夜、ヒロトの部屋にて】

べ・ばあぶだばぶ！！

基：それにしても、15m以上離れるとかんしゃく起こすって……、
しかも……。

ヒ・うむ、男鹿の部屋よりも快適だな。

基：なんかいろいろすごい女の人がついてるし……。

ぐ・あぎぬ...ぎんぐ...

ヒ：坊ちゃん！！？どうされました！！？

べ・あうう……ぎゃあう……

ヒ：坊ちゃん！！貴様、早くサッカーをしろ！！

基：え！！？そんないきなり……

ヒ：早く外に出てサッカーをやれ！！

基：
は、
はい
：

【翌日】

プルルルル

新：はい、万事屋です。あ、基山くん。ベル坊の様子は？

基：それが、ベル坊くんの機嫌が悪くなる度に外に出されてサッカ
ーさせられて流星ブレード打たされて…。一睡もできませんでした
…。

新：そうだったんだ…。

基：ということで、俺には無理なんで、ヒルダさんに万事屋のほう
に運んでもらってますから、よろしくお願いします。

新：あ、はい。……

ガチャ

新：銀さん、また降りだしに戻っちゃいましたよ。

銀：そーだな、やっぱあの人に頼むしかねーか。

男：そーだな。やっぱあの人だよな。

新：男鹿くん、いつの間に！！？ていうか、あの人って誰！！？

神：新八わからないアルか？だから新ハアル。

新：いや、意味わかんないから！！！！！！てか、ホントにあの人って誰！！！！！！？

バブ三訓

11人でババ抜きしたらひとり当たりの手持ち少なくてね!?

大

イナイレではヒロトが大好きなんです。

ヒロトと結婚できたらホントに幸せな人生を送れると思います!!笑

優しいし、カッコイイしめっちゃ理想ツス

ちよつと声優ネタで暴走しましたf^_^
すみません;

バブ四訓

誕生日ケーキのろうそくを一気に吹き消したって何もいいことな

べる魂×家庭教師ヒットマンREBORN!!です。

結構シリアスな感じになりました。

…そうでもないか。

そういえば前話に誤字がありました；
申し訳ないですm(_____)m

バブ四訓

誕生日ケーキのろうそくを一気に吹き消したって何もいいことな

新：ねえ、ホントにあの人って誰なんですか！！？

銀：じゃ、ヒントな。

男：ジャンプ誌上最強・最凶といえバ……？

新・えーと

神：可愛い名前してババンバン。

新：なんかそのノリ古いし。……誰だろ……。………ってもうみんないないし！！！！ちよっ、待ってくださいよ！！！！！！！！！！

銀：緑たなびく並盛の、大なく小なく並がいい♪

神・さあ、共に歌おうと並盛中♪

男：つーことで、現在並盛町の並盛中前に来ております。

新：ちょっと、置いてかないでくださいよ！！！！！！

神：新八がモサツとしてゐるからアル。だからお通ちゃんに新二つて呼ばれるネ。

[illegible]

雲：何、僕の学校の前で騒いでるの？しかも、群れてる。そんなに
かみ殺されたいの？

新：わわっ、すみません！！！！！！

銀：君、いいところに来たね。雲雀恭弥くんだよな？

雲：そうだけど、何か用？僕、忙しいから早くして。

男：コイツの親になってくれ。

雲：ワオ、それは面白い冗談を言うね、君。僕がそんな暇に見える？

ヒバ：見える？見える？

雲：僕にはヒバードだけで十分だから。だから帰りなよ。これ以上騒いだら本当にかみ殺すからね。

べ・だあぶばぶだあ！！！！

男：あつ、おい、ベル坊！！！！！！

べ・だばぶだあば！！！！

銀：おいおい、もしかしてベル坊のヤツ、雲雀のこと気に入ったんじゃないかねえか？

べ…だ！！

神…というより、ヒバードが気に入ったみたいアルよ。

雲…ふーん、この子面白いね。赤ん坊といるときみたいにワクワクする。連れて帰ることにするよ。

スタスタ

新…あつ、待ってください！！！！

雲…それ以上騒いだらかみ殺すって言ったよね？

シャキ…（トンファー）

新…ごっ、ごめんなさい……

神…行っちゃったアル。

銀…ま、手間が省けてよかったんじゃないかな？な、男鹿くん？

男…あいつ、実際に会ったらすんげー強そうだった…。戦いてー！！！！

銀……さすがだね、男鹿くん……。

雲…君、ただ者じゃないね。マフィア？

べ…だぶー!!

雲…まあいいや。早速、僕と戦おうか。

シャキン

べ…だ…ば…うあ……

バリッ

雲…へえ、かんしゃく起こせるんだ。素晴らしいね、君。

べ…だ…あう…ぎゃう…

バリバリッ

雲…残念だけど、それくらいの電流じゃ、僕には勝てないよ。

バリバリバリバリッ

雲…フッ……そうそう、面白くなってきたね。

べ…だあぶだばあーぶうー!!!!!!

【翌日】

雲…やっぱり、この子は返すことにするよ。

男…どーしたんだよ？

雲：この子とのバトルは赤ん坊並にワクワクしたよ。でも、そのせいでヒバードが妬いたみたいで様子が変わんだ。ヒバードは手放せないからね。

男：そうか。

雲：それと、君、男鹿辰巳だね。知ってるよ、1年生にしてあの石矢魔高校を統一したって。

男：別にそんなんじゃないよ。

雲：今度は君と戦いたいな。

男：俺もそう思ってたところだ。

雲：君なら、手加減する必要がなさそうだ。面白くなりそうだね。

ヒバ：今日は8月31日、男鹿くん、誕生日おめでとう、おめでとう！ー！

バブ四訓

誕生日ケーキのろうそくを一気に吹き消したって何もいいことな

雲雀さん大好きですっ。

でも結構コロネロも好きです。

どうしてあんなに学校大好きなんでしょうかね？笑

ま、そこも含めて大好きです

そして、男鹿くんはぴばです♪

バブ五訓

見たいテレビがある日に限って予定が入るもんだ

区別がつかま

べる魂×ぬらりひよんの孫です。

ぬら孫は一話完結にならなかったで、何話が続く予定です。

それにしても、夜リクオと首無のカッコよさは素晴らしいと思いま
す!!!!!!!!!!
↑

男：何だよ、人の顔見て騒ぎやがって。

銀：なんだー、男鹿くんかー…。

男：男鹿で悪かったな。

銀：ううん、男鹿くんでもよかった。

リ：こんなところでどうしたんですか？

銀：うわあっ！！！！ビックリした！！！！お前いきなり話し掛けんな…って、君はもしかして奴良リクオ！！？

リ：え、まあ、そうですけど…。

銀：ああ、どうもどうも。ボク、ぬら孫の大ファンなんですう。

リ：え、あ、どうも…。

新：ぬらりひよんの孫…？あ、ホントだ。ここ、浮世絵町だったんだ。えっと、僕ら、かぶき町に帰りたいんだけど、真っ暗だからどうしようか考えてたところだったんだ。

リ：それなら、僕ん家に泊まってきますか？どうせ無駄に部屋空いてるし。（今日はほとんどの妖怪は旅行に出かけたし）

神：渡る世間は鬼しかいねーコノヤロー映るアルか？

リ：うん、もちろん映るよ。

神：決まったアル！！銀ちゃん、こいつの家に泊めてもらうアル！！

銀：おま、神楽、こいつん家がどんな家だか知ってんのか？

神：今はそんなこと関係ないアルよ。だたら銀ちゃんひとりで帰るヨロシ。

銀：それはお前たちに保護者としてついていないとだな…。

男：お前ら、早くいこーぜ。

神：そうアルな。

新：そうですね。

ベ：だあぶ。

リ：家はこっちです。ついてきてください。

銀：え、あつ、ちょっと待って…！！神楽ちゃん…、だつて出るんだよ…。

神：何がアルか？

銀：よ…がつくもの…。

神：よ？羊羹アルか？だたらなおさら行くアル！！

銀：ち、ちがくて……。

【奴良邸】 ↑（？）

新：うわあ、立派な屋敷だね…。

リ：ま、幽霊屋敷だって変に噂されちゃいますけどね。

銀：だって出るもの、幽霊的なものが…。

リ：そーゆーこというなら銀さんだけ外で寝てもらいますよ。

銀：わ、悪かった悪かった。

ゴオオオ

新：こ、この音は…！！？

リ：しまった、今日は蝉さんがくる日だった！！！！

男：蝉？

リ：えっと…、僕の兄みたいな人です。

蝉：今日は人間がたくさん来てるな。

神：あれ、銀ちゃん何か言ったアルか？

銀：いや、何も…。というか蝉さん、お目にかかれて光栄です。

蝉：ん？あんたは？

銀：銀魂の主人公やらせていただいてます、坂田銀時といます。僕もうぬら孫の大ファンで、蝉さんとかカッコよくて大好きです。

蝉：あー、銀魂の。聞いたことはある。よろしくな。

銀：こちらこそ。

蝉：そんな固くならなくてもいいぜ。そんなことより、一杯いくか？

銀：いーんすか！！？ぜひ！！！！

神：行っちゃったアル。しかもあの2人声似すぎててどっちがしゃべってるのかわかんなかったアル。

新：だからもうその話題は止めよう！！？

リ：そうだ、こんなところじゃなんだから、中に入ってください。ただし、勝手にウロウロしないでくださいよ。

男：なんでだよ。

リ：なんでって…、…ほら、勝手に自分家ウロウロされたら嫌じゃないですか！！！！

男：ま、俺ん家には変な奴らが勝手に押し入ってくるけどな。

リ：とにかくく！！！！約束ですよ！！？

全：はい。

バブ五訓

見たいテレビがある日に限って予定が入るもんだ

区別が付きま

ぜんの漢字が出て来なくてショックです；

平仮名だとなんか気が抜けますね；

バブ六訓

点呼って面倒だけどほんとに大事だと思う

勘違いしました×ぬ

べる魂×ぬらりひよんの孫後編です。

なんかグダグダになってしまいました；

きをつけます。

バブ六訓

点呼って面倒だけどほんとに大事だと思う

勘違いしました×ぬ

【台所】

リ：人間のお客さんがいるから、絶対に顔出さないでよ。

若：あら、清継くんたちが来てるの？

リ：違うよ。家に帰れなくて困ってる人達がいたから泊めてあげることにしたんだよ。

毛：お茶を入れましたから、持っていつてくださいな。

リ：うん、ありがとう。

【客間】

神：うおおおおー！渡る世間は鬼しかいねーコノヤロー始まったアル！……ピン子おおー！！！！

新：神楽ちゃん、他所の家なんだからあんまり騒がないの！！

リ：別に大丈夫ですよ。いつもはもつとうるさいので。

新：そんなに家族がたくさんいるの？

リ：そ、そーじゃなくて、お、お客さんがたくさんくるんですよ…
…、あはは…

新：楽しそうでいいね。

ぬ：皆さん、こんばんはー。

リ：……おじいちゃん……！？

新：あつ、リクオくんのおじいちゃんですか、こんばんは。

ぬ：今夜はどうぞゆっくりしていきなさい。

新：ありがとうございます。

男：なんだ、あのじいさん。なんか気味悪いな。

新：ちょっと男鹿くんっ、孫の前なんだから……！

リ：ああ、いいんですよ、言われ慣れてますから。でも安心してください、普通の人間ですから……。

キャアアアア……！！！！

新：何ですか、この悲鳴は……！！？

リ：しまった、妖怪でも現れたか……！！？大丈夫です、確認してきますから、ここで待機しててください……！！

新：あつ、ちょっと待って……！！……みんな、見に行きましょう……！！

男：あ？めんどくせえ、俺は寝る。

神：お前ひとりで رفتてくるヨロシ。

べ：だばあぶ！！

新：んもう、わかつたよ！！僕ひとりで رفتてくる！！

【奴良邸・庭】

リ：どうしたの！！？

首：あ、リク才様！！ここら辺では見かけない妖怪がウチの妖怪を襲つたそうなんです。

リ：そうか……。みんなが出掛けてるところを狙つたのか…？

雪：キャアアアア！！！！

リ：この声は雪女！！？

タタタタタ……

雪：あつ、若！！！！こちらは…危険です！！！！どうか、お逃げください！！！！！！

妖：ギャオオオ！！！！

リ：お前、雪女を離せ！！！！

妖：ギャオオ！！！！！！

雪：若！！私など放っておいてください！！！！

リ：そんなことできない！！！！——【夜リクオ】これ以上仲間を傷つけたら、ただじゃすまねえぜ。

雪：わ、若……！！

新：はあ、はあ……、な、何この音は……？うわっ、でかい妖怪！！ん、戦ってるあの人は……？

リ：……これでとどめだ。覚悟しろ。

ドスッ

ブシャアアアッ

妖：ウギヤアアアア！！！！

雪：わ、若……（パタ… 気絶）

リ：氷麗、もう大丈夫だ、安心しろ。

パタパタ……

黒：若！！大丈夫ですか！！！！

首：お怪我は！！！！？

リ：黒田坊、首無。俺は大丈夫だ。それより雪女を…。

新：い、今はなんですか！！？

リ・黒・首：（ビクッ）！！！！

黒・首：に、人間……。 （隠）

リ：部屋で待ってろつつただろ。

新：どうしてそのことを……。もしかして君は、リクオくん……？

リ：……

新：リクオくんって、そんなに強いの！！？

リ：……このことは他の連中には黙ってるよ。

新：さっきその妖怪倒したよね！！？強いんなら、親になって！！！！

リ：は？…お前のか？

新：ちがくて！！えっと、さっきの緑の髪の赤ん坊の！！

リ：俺が親……？ならそのもうひとりの親は誰だ。

新：もうひとりの親？男鹿辰巳です……。

リ：そいつと俺が夫婦めおとこになれと？

【事情説明】

リ：お前は俺を男と結婚させようとしたのか。：お前、そーゆー趣味か。

新：人の話はちゃんと聞けええええ！！！！！！僕の説明聞いてた！！！！？

男：新八くん、そーゆー趣味だったのー？へえー。

新：だーかーらー！！！！もういいよ！！！！せつかくいいべ
ル坊の親が見つかったのに！！！！僕もう知らないからね！！
！！！！！！！！！！神楽ちゃん帰るよ！！！！

【歸宅】

神：新八一。

新：なに、酢昆布なら買わないよ。

男：新八一。

新：なに、ってなんで男鹿くんここにいろの！！？昨日置いて帰ったはずなのに……。

神：新八一、銀ちゃんは？

新
:
.....
あ。

バブ六訓

点呼って面倒だけどほんとに大事だと思う

勘違いしました×ぬ

夜リクオってなんであんなにカッコイイのか不明です!!

首無も黒田坊も好きです

しかも声優が福山潤に櫻井孝宏に鳥海浩輔って……破壊力ハンパないです!!!!!!!!!!
↑すみません;

バブ七訓

子守歌はお母さんが歌うことに意義がある

眠れませんでした(前

今回はちょっと休憩ということで…はい。

全面、銀魂です。

ユニーク1,000超えました。

ありがとうございましたm(_____)m

バブ七訓

子守歌はお母さんが歌うことに意義がある

眠れませんでした

神：銀ちゃん、寝れないアルー。

銀：あ？またかよ。前にもそんなことあったよな。

神：目が冴えてしまつて全く眠くないアルよ。だからこの本を読んでほしいネ。

銀：はあ？お前何歳だよ。

神：レディーに歳を聞くもんじゃないアル。ほら、はやく読むアル。

ゴソゴソ

銀：オイ、勝手に人の布団に入つてんじゃねーよ。暑苦しいな。

神：なんかオッサンの臭いがするアル。

銀：そんなこと言つてつと読まねーぞ。

神：（ぎくつ）ああ、なんだか銀ちゃんの布団、フローラルの匂いがするネ。

銀：まったく、仕方ねーな……。これを読めばいいのか？

神：よろしく頼みます。

「桃太郎」

昔々、あるところに、おじいさんとおばあさんが住んでいました。
おじいさんの名は、志村新八。おばあさんの名は、お通。

——なんか気に入くわねーから、おばあさんの名は、キャサリン。

ある日、新八じいさんはアイドルのコンサートに、キャサリンばあさんは盗みを働きに行きました。

キャサリンばあさんが川の近くを通ると、川上から大きなエリザベスガサが流れてきました。

「ナンダ、エリザベスカ」

キャサリンばあさんは大きなエリザベスには目もくれず、そのまま見過ごしました。

しばらくすると、川上から今度は大きなパフエが流れてきました。

「オ、大キナパフエガ流レテ来タヨ。コレハ儲ケモノデスネ」

キャサリンばあさんは大きなパフエを拾い、家に持って帰りました。
家に着くと、新八じいさんが何やら大声で歌っていました。

「お前、それでも人間か、お前の母ちゃん××だ!!」

キャサリンばあさんはラジカセを叩き壊すと、持ってきた大きなパフエを新八じいさんに見せました。

「オジイサン、見テクダサイ」

しかし新八じいさんは、おいおいと泣くばかり。

そんな新八じいさんに苛立ちを覚えたキャサリンばあさんは、思わず大きなパフエを新八じいさんに向かって投げつけました。

すると、ひっくり返ったパフエの中から元気な男の子が現れました。
その子は銀時と名付けられ、すくすくと成長しました。

——ちなみに、銀時は村一番のイケメンになりました。

ある時、鬼が現れて悪さをするので困っているという情報が銀時の元に入りました。

銀時は鬼の本拠地・鬼ヶ島に乗り込むことにしました。

銀時が旅に出るということで、キャサリンばあさんは盗んだ団子を

銀時に持たせました。

村の人々から見送られ、一人で道を歩いていると、不意に声をかけられました。

「ワン、ワン！！」銀時さん、銀時さん、お腰につけた団子、ひとつ私にくださいな」

現れたのは犬の定春でした。

「これは乗り物に丁度いい」

銀時は団子を与え、定春の背中に飛び乗りました。

しばらくすると、銀時は再び誰かに声をかけられました。

「おい、お前、俺ら腹減ってんだ。その団子よこせ」

現れたのは猿のトシと総悟とゴリラの勲でした。

「だったらその代わりに鬼ヶ島の鬼退治に付き合えよ」

銀時は交換条件で、3匹に団子を与えました。

3匹はその団子をそれぞれいろいろな食べ方で食べました。

トシはたつぷりとマヨネーズをかけてから。

総悟は何故か団子を散々痛め付けてから。

勲はお妙さんにも食べさせたかった、と叫びながら。

しばらくすると、また銀時は声をかけられました。

「銀時、止まれ」

現れたのは雉の桂でした。

「俺は腹が減っている。貴様が持っている食べ物をくれ。なんでもいい」

「団子しかねーけど」

「団子か……。実を言うと俺は今、そばが喰いたいのだ。それがなければ、んまい棒でも構わんが」

「なんでもよくねーじゃねーか。で、団子はいらねーのか？」

「そうだな、せつかくだからいただこう」

銀時は桂にいらつきながらも、強制的に仲間に加えました。

鬼と戦うとき、盾にしようと考えたのです。

鬼ヶ島まであと少しというところで、銀時はまたしても声をかけら

れました。

「銀さん、私は団子はいらないけど、私のすべてを銀さんにあげたいの」

現れたのは自称メス豚のさっちゃんでした。

「お、いい食料がこんなところに」

「え、私を食べてくれるの？なんてことなの！！？銀さんが私のことを食べるだなんて……！感激だわ！！！！」

銀時はとりあえず、定春の上にさっちゃんを乗つけました。

いよいよ、銀時一行は鬼ヶ島の手前にたどり着きました。

鬼ヶ島は海の方こうにあるのですが、そこまで行く船がありません。どうしようかと悩んでいると、屋形船が目の前を通り過ぎようとしていました。

銀時はその船に乗せて貰おうと思い、船を止めました。

中に乗っていたのは、高杉晋助でした。

事情を聞いた高杉は、ククツと笑うと快く船に乗せてくれました。

鬼ヶ島に着くまでの間、銀時一行は延々と高杉の三味線の演奏を聴かされ続けました。

高杉が快く船に乗せてくれた理由はこれでした。

聴いてくれる人がいなかったからだそうです。

——ま、高杉の三味線は上手いからいいんだけどよ。

なんとか船は鬼ヶ島に着きました。

けれど、曲の切れが悪いからということ、その後15分くらい岸辺で三味線を聴かされ続けました。

もう面倒くさくなったので、高杉まで鬼退治につれていくことにしました。

神：ねえ、銀ちゃん。

銀：あ？どうした。眠くなったか？

神：トイレ行ってくるアル。寝るんじゃねーぞ。

バブ七訓

子守歌はお母さんが歌うことに意義がある

眠れませんでした（後

続きますので、続きもどうぞ）？

高杉の三味線コンサートがあつたら絶対行く！！

バブ八訓

自分の力を過信するな！！

眠れました（前書き）

桃太郎（？）の続きです。

まったく桃太郎じゃないけど笑

私の場合、眠れない夜よりも起きれない朝のほうが多いです。

バブ八訓 自分の力を過信するな！！ 眠れました

神：はあ、スッキリしたアル。銀ちゃん続き。

銀：zzz...

神：フッ……

銀：くかー

神：ぬふふ、銀ちゃん寝てるから、銀ちゃんのプリン食べちゃお。

銀：（ぴく）ああ、神楽ちゃん、戻ってきたのかい？さあ、布団に入りたまえ。

神：（単純アルな）

ゴソゴソ

鬼ヶ島の奥のほうへ進んで行くと、立派な建物が目に入りました。
『スナックすまいる』と書いてあります。

中からは何やら騒ぎ声が聞こえて来るではありませんか。

銀時は後ろ髪をひかれつつもその前を通り過ぎようとしたが、
ゴリラの勲がそれを止めました。

「銀時、中に入ってみないか？」

あまりに勲がしつこいので、渋々中に入ることになりました。

「ああ、勲さん、ご指名は？」

「えーと、お妙さんでー!!」

銀時は勲を殴ると、外に連れだしました。

「常連じゃねーか!!!!」

「だって、お妙さんに会いたかったんだもん……」

銀時は勲を無視して歩きだしました。

しばらくすると、今度は映画館がありました。

となりのペドロが上映されていました。

銀時は後ろ髪をひかれつつもその前を通り過ぎようとしてましたが、トシがそれを止めました。

「これ、見てみよーぜ」

トシがあまりにしつこいので渋々見ることにしました。

——面倒くせーから飛ばすな。その後、総悟はグロイホラー映画、桂と定春は動物モノ、さっちゃんはずの18禁モノを見たいと言いだしましたとき。

その皆を無視して、銀時は歩きだしました。

すると雲行きが怪しくなり、雷が鳴りはじめました。

そして銀時の前には大きないかつい門が現れました。

仲間がいなくなった銀時はひとりです……と思ったら、後ろのほうに高杉がいました。

まだ三味線を弾き続けています。

中からは時折、不気味な音がするので、銀時は高杉にくつつきました。

でも、怖がついていても何も始まりません。

2人は中にゆつくりと入りました。

中は真っ暗で何も見えません。

銀時が一步步踏み出そうとしたその時、光がパツとつき、視界が開けました。

銀時が見たものは、赤い目をした……夜兎族の神楽、神威、天人、そして、屁怒口（糸へんに呂）でした。

そんな奴らに囲まれると、味方の高杉でさえ敵に見えてしまいます。

よく見ると、そいつらの背後にぼんやりと白いものがあることに気づきました。

それはだんだんとハッキリしたものになり、人の上半身になりました。

「す、スタンド……！！！！」

それらがじわりじわりと近づいてきます。

「お前を殺してやる……！！！！」

逃げ場を失った銀時はとうとう……

銀：神楽ちゃん、これ、やめない？てか、誰が作ったの、この話？

神：すやすや……

銀：あ、なんだ、寝たのか……。よかった……

『お前を殺してやる……！！！！』

銀：（びくっ！！！！）そ、そんなことないぞ……。銀さんは無敵なんだぞ……。だって白夜叉だったんだもん……。強いんだもん……

『お前を殺してやる……！！！！』

銀：……。か、神楽ちゃん……。起きてるんでしょ……。ねえ……。そうだ、寝ればいいんだ……

神：くうー

銀：……

神：お前を殺してやる……！！！！！！（寢言）

銀：ぎっ、ぎゃああああああい！！！！！！！！！！！！！！！！

バブ八訓 自分の力を過信するな！！ 眠れました（後書き）

このお話は、神楽が考えたって設定です。

所々はある——のこの文は、銀さんが勝手に付け足した文です。
が、初めからキャサリンばあさんはキャサリンばあさんでした笑

あのお話の続きはご想像にお任せします。

バブ九訓

人の好みは十人十色 味覚もな！！

似た者同士ですか？

× 薄桜虫

べる魂×薄桜鬼です♪

江戸という点では同じですが、ギャグ度が違いすぎて難しかったです。

またグダグダですが、お付き合いくださいm (_____) m

バブ九訓

人の好みは十人十色 味覚もな！！ 似た者同士ですか？
× 薄桜鬼

男：全く親みつかんねーじゃねーかよ。

銀：いやー、難しいもんだね。だって銀さん精一杯がんばったもん。

新：銀さん、たしかに難しいですけど、一応依頼なんだからちゃんとやらないと。

神：私、最強がたくさん集まってるって知ってるアルよ。

銀：神楽、ホントか！！？

神：薄桜鬼っていう、おとげーにはたくさん最強がいるらしいネ。

新：じゃあ早速行ってみましょうよ。

【京】

銀：ここが薄桜鬼の世界か。

新：あまりかぶき町と変わらない感じがしますね。

神：それは設定が同じ江戸だからアル。

男：お前随分くわしいな。

神：べべべ、別にやってるわけじゃないからな！！！！

新：みんな、あっち見て！！何か切り合ってるよ！！！！

神：ああ、あの羽織りを来てる奴らが新選組アル。

沖：それ以上口答えしたら、殺すよ。

原：さっさと吐いちゃったほうが楽なのによ。

銀：いい雰囲気じゃねーってことは確かみてーだな。

ベ：ばあぶだは！！！！

男：ベル坊はもっと近くで見たいらしい。

新：じゃあ、近づいてみましょう。

うらああああつ

ガシンッ

シャキーン

藤：くそつ、なんだこいつら……、わかんねーけど、つええ……！！

原：援軍はまだか！！？

沖：それなら、さっきくんたちを呼びに言ったはずなんだけど……。

ベ：ういー！！！！

原：な、なんだあ！！？

男：援軍ですけど何か？

バキッ

敵：うぐっ……がはぁっ……

藤：すげえ……何者だ！！？

沖：一くんたちじゃないことだけは確かだね。……もしかして、鬼？

銀：んー、よくわかんねーけど、こいつら倒せばいいわけ？

藤：ま、まあ……

男：よっしゃ、久しぶりの喧嘩だぜ、ベル坊、一暴れするか。

ベ：だ！！！！！

原：喧嘩って……；

銀：うおりゃあああ！！！！！

グシャアッ

神：うおおおおっ！！！！！

パンパンパンッ

沖：へえ、傘から弾丸が出るなんて、洒落てるね。

男：行くぜ！！！！めり込みパンチ！！！！！！

原：ははは…、なんだそりや…、まんまじゃねーか…

シャキーン

ゴキッ

ぎゃああああっ

【新選組屯所】

土：今回は、世話になった。で、お前らは何者だ？

銀：坂田銀時と申しまして、かぶき町で万事屋やってます。

男：この世界には最強がたくさんいるって聞いたから来たんだが、最強ってお前らか？

永：おお、そんなに俺らも有名になったのか！！！！ま、最強っちゃ最強だなっ！！

男：そんなら話は早え。こいつの親になってくれ。

ベ：だばあぶ！！！！

全：親あ！！！！？？

沖：その役を必ず買わなきゃなんないってなら、土方さんで決まりですね。

土：は！！？何、勝手なことやってやがる、総司！！

沖：ははは、冗談ですよ。鬼の副長が子持ちだなんて、そんな面白い話、ありませんからねー。

土：だったら総司、お前が預かれよ。

沖：いやですよ、僕、最近体調悪いんで。

土：なら、他人からかってねーで大人しく寝てろ。

原：まあ、子供の世話なら、ここにいる奴らは誰でもできんじゃないかねーか？新八は例外だが。

永：言ったな、左之！！

新：あれ、あなたも名前、新八っていうんですか？

永：そーだけど…お前も？

新：はい、志村新八といいます。あなたは？

永：俺は永倉新八。これも何かの縁だ。仲良くしよーや！！

男：まったく、そんなことどーでもいいーからよ、誰が預かってくれんだよ？

藤：俺、一くんがいいと思うんだけど、ダメ？

斎：平助、何故俺を選なによえぶ？

藤：やっぱ最強って言ったら一くんじゃないかなーって。しかもちやんと、仕事と子育てを両立できそうだしさ。新八つつぁんと違って。

永：だからよつ、おめーら俺を何だと思ってんだよ！！

斎：生憎だが、俺は子供に興味などない。そんなものは邪魔となるだけだ。だから俺は、新八を推薦する。

永：斎藤……！！！！推薦してくれんのは有り難いけどよ、理由が……。

藤：ならもう、新八つつぁんでいいんじゃない？一くんが推薦するなら間違いはないと思うし。

沖：僕も賛成。

原：ま、全部責任は新八が取るわけだしな。

斎：土方さんはどうお考えですか？

土：まあ、本人がその気ならいいんじゃないか？

永：おいおい、俺はやりたいなんて一言も言っただけぞ！！？だいたい左之も平助も俺にはできねえみたいなこと言っただじゃねーか！！！！

べ：ばあぶだば！！！！！！

男：お？ベル坊もあんたのこと気に入ったみてーだぜ？こりゃ親決定だな。

永：はあ！！！？お、おい、赤ん坊離れるよ！！！！！！

男：んじゃ、よろしく頼むわ。

【数日後】

プルルルル

新：もしもし、万事屋銀ちゃんです。あ、永倉さんですか。

永：昨日預かった赤ん坊だけだよ、なんか突然言うこと聞かなくなっちゃったんだが…どうすりゃいいんだよ！！？

新：何か変なことしましたか？

永：変なことなんざするわけねーだろ！！！！ただ、かんしゃく起こせるから拷問のときに使えるなって土方さんが言うから毎回泣かせてるが……

新：きつとそれですよ。ベル坊は魔王の子供ですから、誰かの役に立たされるのが嫌なんですよ。じゃあ、すぐに迎えにいきますね。

永：俺たちはそうしたいんだが、土方さんがよ……

新：じゃあ、土方さんを説得すればいいんですね。では今から説得

させられる人を送りますから。

永：おう、待ってるぜ！！！！

【数時間後・新選組屯所】

？：すみませーん。万事屋から頼まれて来た者ですがあ。

永：お、待ってたぜ。とりあえず上がりな。

【土方歳三の部屋】

永：……ということできてもらったんだが、土方さん、なんとかわかってもらえんかね？

土：とりあえず、この人の話を聞いてから考える。あんた、名前は？

十：はい、俺は真選組副長の土方十四郎といいます。聞けば、あなたとモデルが一緒だと……

土：そうなのか。あんたもなかなか男前じゃねーか。ま、仲良くしよーじゃねーか。

【数時間後・万事屋】

十：万事屋、赤ん坊連れて帰ってきた。

新：ありがとうございます。わざわざすみませんでした。

十：次からは協力しねーぞ。

新：すみませんでした。……あれ、後ろの方は？つて、薄桜鬼の土方さんじゃないですか！……どうしてここに！……？

土：ま、十四郎と仲良くなったら……な……

新：もしかして、追い出されたんですか……？

土：ん、んなわけねーだろーが！……！ただ、……こっちに遊びに来た……ただだよ……

新：あ、追い出されたんですね……

土：た、ただ、今日は俺が飯当番だったから、十四郎から教わった土方スペシャルをつくっただけだ……。あれは美味しいのに。

新：追い出したい気持ちもわかるかも……。

バブ九訓

人の好みは十人十色 味覚もな！！

似た者同士ですか？

× 薄桜虫

駄作ですみませんでした> (——) <

斎藤さんかつこよすぎる！！！！

最近斎藤さんルートにとっぷりはまっています

また更新遅れると思いますが、ご了承ください。

バブ十訓

ム・ミンってアレ、妖精だってみんな知ってた？

魔王ですから

更新遅くなりましたorz三

べる魂×FAIRY TAILです。

グレイが好きですが、今回あまり登場しませんでした；
あとはジエラールも好きですが、やはり登場しません笑

今回もすっちゃんかめっちゃんですが、ついてきてくださいm(_____)m

バブ十訓

ム・ミンってアレ、妖精だつてみんな知ってた？

魔王ですから

銀：もうこうなったら、ただの人間じゃダメなんじゃねーの？

新：どういうことですか？

銀：だからよ、人間は人間でも、例えば魔法が使えるとか。

神：私、魔導師がたくさんいるところなら知ってるアル。

銀：でかしたぞ、神楽。てかお前、いろんなこと知ってたんだな。

【魔導師ギルド】

神：ここには、たくさんの魔導師がいるアルよ。

新：じゃあ早速行ってみましょう。ごめんくださーいっ！！

ル：はい、あれ？あなたたちは新入りかしら？

新：いえ、少し頼みたいことがあります。あ、僕は万事屋の志村新八です。

ル：私はルーシィ。よろしくね。万事屋さんが依頼するなんて面白いわね。まあいいわ、とりあえず中に入って。

男：結構中は広いんだな。

銀：しかもきれいなコが多いと来てる。

新：戦闘美少女って感じですね。

銀：お、いーね萌えるねー。

神：オヤジども。私だって戦闘美少女アルよ。銀魂のプリチーなヒロインアルよ。

銀：どこにゲロ吐いたり鼻いじったりするヒロインがいたよ。

新：そうだ！……愛らしくて歌が上手くて全てにおいて女の子らしいお通ちゃんこそヒロインに相応しいんだ！……！！！！

神：黙れ、ダメガネアイドルオタク！……！！現実にも目を向けたほうがいいアルよ。

男：ま、どーでもいいーけどよ、こいつらがどれだけ強えのを見せて貰おうじゃねーか。

銀：それもそうだな。その金髪巨乳のねーちゃん（ん？なんかそんな奴、他にもいたような……ま、いーか）

ル：ルーシィよっ。

銀：……ルーシィちゃん、君は何ができるの？

ル：私は星霊魔導師だから、色々な星霊を操れるのよ。見てなさいっ……！開け、処女宮の扉、バルゴ……！！

バ：お呼びですか。

銀：お、何か出てきたぞ。

ル：じゃあバルゴ、この人たちにすごいものを見せてあげて。

バ：了解しました。

ル：……ちよつ、バルゴ！！何で私の服を脱がそうとするの！！？

バ：すごいものをお見せしろと命じられたので。

ル：すごいものってそーゆーことじゃないの！！魔法とかそーゆー感じのものをらせてって言ったのよ！！

バ：そうですか。では、お仕置きですね？

ル：お仕置きはしないわよ！！もう……全く私の凄さが伝えられなかったじゃないの……

男：あんたの力はわかったからよ、他の奴らのことも教えてくんねーか？

ル：わかったわ。でもそんなこと知ってどうするの？

新：言い忘れていましたが、実は僕たち、この赤ん坊の親になってくれる人を探してるんです。でもこの子、強い人にしか懐かなくて、だから強い人を探してるんです。

ル：親かぁ。お母さんに相応しそなのはミラさんかな。

ミ：こんにちは、ミラ・ジーンです。私はどんなものにでも変身できるの。例えば……

神：あ、銀ちゃんが二人いるアル！！！！

ミ：でも私は今はあまり魔力がなくて強くないから、やっぱり強い人って言えば、エルザだと思うわ。

エ：私はエルザ・スカーレットだ。私に何か用か？

新：エルザさんはどんな力を持っているんですか？

エ：細かく話すと長くなるが、簡単に言えば、鎧を一瞬にして身にまとい、あらゆる剣を使いこなす。

ル：エルザはホントに強いよ。私はFAIRY TAIL最強の魔導師だと思うの。

ナ：はぁ！！？何言ってやがるルーシイ！！！！FAIRY TAIL最強はこのナツ・ドラグニル様に決まってんだろ！！！！！！

グ：てめーこそ何言ってやがる！！！！てめーが最強なわけねーだろーが。

ナ：あぁん、やんのか、たれ目！！！！！！

グ：うるせー、つり目！！！！！！

ル：あー、ナツもグレイも喧嘩しないの！！！！

エ：…… お前ら、お客様の前だというのに、そんな恥をさらしおつて…… 換装

ナ：エ、エルザが本気になった！！！！

グ：とりあえず、逃げんぞ！！！！！！

男：こりゃ、思ってたより強い奴が見つかりそうだな。

ハ：エルザー、大変だよ！！！！

エ：どうした、ハッピー。

銀：なんだこの猫っぽいのは。青いし飛んでる……！！

ハ：ひどいよ！！オイラはちゃんとした猫だよ！！…… たぶん。

エ：そんなことどうでもいいからはやく言え。

ハ：どうでもよくないよ！！……あのね、強い人を探してるって噂が広まって、最強は誰かっていうのでみんな戦い始めちゃったんだよ。

ドカーン
パリーン

新：だ、大丈夫なんですか？

エ：こんなのはいつものことなんだが……

ベ：あう……うぎゃ……

バリッ……

男：くそ、ベル坊がかんしゃく起こしそうだ……！！

新：え……こんなに強い人がたくさんいるのにどうして……！！？

ヒ：それは、魔法を使う人間が集まっているせいで、坊ちやまが恐怖心を抱かれたからだ。

男：恐怖心？

ヒ：ああ。坊ちやまは魔王だからな。自分より勝る者が大勢いるとお考えになられたのだろう。坊ちやま、心配はありませんよ。坊ちやまは人間などに劣りはしませんからね。

ベ：あうっ……うぎゅ……うぎゃあああ……！！

バリバリバリッ

【万事屋】

新：銀さん、どうするんですか。親は見つからないし、ギルドの修理代は請求されるし。もうクタクタなんですけど。

銀：仕方ねーだろ。新八はダメガネなんだから。

新：いや、意味わかんないから！！！！もっただ働きなんてウンザリです！！！！今月こそ給料もらえるんでしょうね！！！！？

銀：当たり前ーだろ。ほら、寺門通限定プレミアムカード。

新：……銀さん……あんたね……なんていい人なんだああああ！！！！！！！！これ欲しかったんですよ！！！！どうやって手に入れたんですか！！！！！！！！？寺門通親衛隊隊長としたことが！！！！！！！！

神：……単純な野郎アルな。

男：あ、今日は古市の誕生日だ……。

バブ十訓

ム・ミンってアレ、妖精だってみんな知ってた？

魔王ですから

女の子ならミラとエルザが好きです

ご意見、ご感想、あとコラボの要望お待ちしております♪

コラボの要望は、私がわかる範囲内ですが……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1707w/>

べる魂 銀さんと男鹿と愉快的最強たち

2011年11月17日09時58分発行